



平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成24年4月27日

上場会社名 富士変速機株式会社

上場取引所 名

コード番号 6295

URL <http://www.fujihensokuki.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）中島 寿和

問合せ先責任者（役職名）取締役管理部長

（氏名）志賀 宏昭

（TEL）058（271）6521

四半期報告書提出予定日 平成24年5月7日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 平成24年12月期第1四半期の業績（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
24年12月期第1四半期	1,596	2.6	126	56.5	131	48.7	73	52.1
23年12月期第1四半期	1,555	△38.8	80	△62.8	88	△60.0	48	△62.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	4.37	—
23年12月期第1四半期	2.88	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
24年12月期第1四半期	10,749	9,186	85.5
23年12月期	10,521	9,131	86.8

（参考）自己資本 24年12月期第1四半期 9,186百万円 23年12月期 9,131百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年12月期	—				
24年12月期（予想）		3.00	—	3.00	6.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

（％表示は、通期は対前期、第2四半期（累計）は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	3,000	6.8	90	△1.1	100	△8.3	50	△15.3	2.96
通期	6,070	7.3	220	15.2	230	4.5	110	3.8	6.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期 1 Q	17,955,000株	23年12月期	17,955,000株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期 1 Q	1,039,014株	23年12月期	1,038,892株
-------------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 1 Q	16,916,083株	23年12月期 1 Q	16,916,108株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興に伴い、企業の生産活動や個人消費に持ち直しの動きが見られるものの、欧州政府債務危機による海外景気の低迷、原油高の影響など、景気を下押しするリスクを抱えた状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社は「お客様の理想をカタチに」を事業コンセプトにマーケティング活動に基づく製品開発と生産活動を行い、お客様の満足を追求した製品とサービスを提供し、また、経営資源の有効活用と継続的な原価低減に加え、見える化改善活動により諸経費の低減を推進し、新たな価値の創造と競争力の強化に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、産業用機械向け販売を中心にマーケティング活動を強化し、お客様の要求する製品の発掘と開発に努めてまいりました。

駐車場装置関連事業においては、主力製品である「くし歯式駐車場装置パズルタワー」の全面見直しに向けた取り組みを行うとともに、改造・改修工事の営業活動を強化し、受注の拡大と安定した利益確保に努めてまいりました。

室内外装品関連事業においては、主力製品のスライディングドアシリーズの性能と品質の向上に取り組む、安定した収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間の売上高は1,596百万円(前年同期比2.6%増)、営業利益は126百万円(前年同期比56.5%増)、経常利益は131百万円(前年同期比48.7%増)、四半期純利益は73百万円(前年同期比52.1%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

〔減速機関連事業〕

得意分野である産業用機械向け販売を中心に、積極的な提案型の営業活動を展開しましたが、特殊減速機の受注が減少したことにより、売上高は728百万円(前年同期比4.3%減)となりました。営業利益につきましては、原価低減と生産性の向上に努めた結果、39百万円(前年同期比39.6%増)となりました。

〔駐車場装置関連事業〕

厳しい受注環境が続く中、新規物件は減少したものの、保守ならびに改造・改修工事が増加したことにより、売上高は648百万円(前年同期比8.4%増)となりました。営業利益につきましては、売上高の増加に加え、継続的な原価低減活動により、76百万円(前年同期比94.0%増)となりました。

〔室内外装品関連事業〕

公共投資が堅調に推移する中、スライディングドアシリーズの受注が増加したことにより、売上高は220百万円(前年同期比12.0%増)となりました。営業利益につきましては、生産性の向上や原価低減に努めた結果、10百万円(前年同期比19.3%減)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

〔資産〕

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ227百万円増加し10,749百万円となりました。

流動資産は、主に仕掛品が24百万円減少した一方で、未成工事支出金が88百万円、ファクタリング債権を含む未収入金等のその他流動資産が97百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ243百万円増加し7,211百万円となりました。

固定資産は、主に保有株式の株価上昇により投資有価証券が49百万円増加した一方で、有形固定資産が減価償却等により32百万円、長期貸付金が10百万円減少したことなどにより、前事業年度末に比べ15百万円減少し3,537百万円となりました。

〔負債〕

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ172百万円増加し1,562百万円となりました。

流動負債は、主に支払手形及び買掛金が122百万円、未払法人税等が21百万円、賞与引当金等の引当金が38百万円増加したことなどにより、前事業年度末に比べ178百万円増加し1,254百万円となりました。

固定負債は、退職給付引当金が2百万円増加した一方で、役員退職慰労引当金が2百万円、長期リース債務を含むその他固定負債が6百万円減少したことにより、前事業年度末に比べ6百万円減少し308百万円となりました。

[純資産]

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ55百万円増加し9,186百万円となりました。これは主に、利益剰余金が23百万円、その他有価証券評価差額金が32百万円増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末に比べ1.3ポイント減少し85.5%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、東日本大震災の復興需要や円高の修正などにより企業収益の持ち直しも見込まれ、緩やかな景気の回復が期待されますが、海外経済の先行きに対しては依然として不透明感が残り、さらにはデフレの影響など、景気の下振れリスクが存在し、経営環境は予断を許さない状況が続くものと思われます。

これらの状況を踏まえ、平成24年12月期の業績予想につきましては、現時点では平成24年2月9日に公表しました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,787,379	3,811,374
受取手形及び売掛金	1,561,443	1,580,076
製品	37,840	43,969
仕掛品	468,129	443,512
未成工事支出金	173,637	262,111
原材料及び貯蔵品	362,963	396,663
その他	582,843	680,364
貸倒引当金	△6,148	△6,426
流動資産合計	6,968,088	7,211,647
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,303,786	2,303,786
減価償却累計額	△1,537,840	△1,550,151
建物（純額）	765,945	753,634
機械及び装置	2,076,100	2,076,100
減価償却累計額	△1,810,524	△1,826,679
機械及び装置（純額）	265,576	249,421
土地	1,557,896	1,557,896
建設仮勘定	702	222
その他	877,353	880,088
減価償却累計額	△787,876	△794,549
その他（純額）	89,477	85,538
有形固定資産合計	2,679,597	2,646,713
無形固定資産	18,506	16,551
投資その他の資産		
投資有価証券	448,529	498,089
長期貸付金	152,000	142,000
その他	259,957	239,466
貸倒引当金	△5,011	△4,981
投資その他の資産合計	855,476	874,574
固定資産合計	3,553,580	3,537,839
資産合計	10,521,669	10,749,487

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	762,053	884,259
未払法人税等	59,963	81,364
引当金	33,721	72,340
その他	219,854	216,429
流動負債合計	1,075,592	1,254,393
固定負債		
退職給付引当金	238,093	240,621
役員退職慰労引当金	44,660	42,060
その他	32,278	25,855
固定負債合計	315,032	308,536
負債合計	1,390,625	1,562,930
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,507,500	2,507,500
資本剰余金	3,896,953	3,896,953
利益剰余金	2,986,532	3,009,759
自己株式	△197,717	△197,743
株主資本合計	9,193,269	9,216,469
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△62,225	△29,912
評価・換算差額等合計	△62,225	△29,912
純資産合計	9,131,044	9,186,557
負債純資産合計	10,521,669	10,749,487

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)
売上高	1,555,273	1,596,488
売上原価	1,265,088	1,277,985
売上総利益	290,185	318,502
販売費及び一般管理費	209,638	192,478
営業利益	80,546	126,024
営業外収益		
受取利息	1,560	1,383
保険配当金	2,757	2,296
受取保険金	2,170	—
その他	1,679	3,207
営業外収益合計	8,168	6,887
営業外費用		
売上割引	—	834
リース解約損	74	—
その他	—	292
営業外費用合計	74	1,127
経常利益	88,640	131,784
特別利益		
貸倒引当金戻入額	833	—
特別利益合計	833	—
特別損失		
固定資産除却損	33	15
特別損失合計	33	15
税引前四半期純利益	89,440	131,769
法人税、住民税及び事業税	47,112	77,052
法人税等調整額	△6,324	△19,258
法人税等合計	40,788	57,793
四半期純利益	48,651	73,975

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	760,946	597,716	196,610	1,555,273	—	1,555,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	11,496	—	—	11,496	△11,496	—
計	772,442	597,716	196,610	1,566,770	△11,496	1,555,273
セグメント利益	27,963	39,321	13,262	80,546	—	80,546

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益 計算書計上額 (注)2
	減速機 関連事業	駐車場装置 関連事業	室内外装品 関連事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	728,244	648,008	220,235	1,596,488	—	1,596,488
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,927	—	—	22,927	△22,927	—
計	751,171	648,008	220,235	1,619,415	△22,927	1,596,488
セグメント利益	39,039	76,280	10,704	126,024	—	126,024

(注)1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。